

特別史跡藤原宮跡保存活用計画書(案)
に対するパブリックコメントの結果

令和 7 年 7 月
橿原市

1. 実施概要

(1) 目的

平成 28 年 3 月に策定した「橿原市内史跡名勝保存活用計画書」に収録している、特別史跡藤原宮跡の現況や策定以降の社会情勢等の変化に対応するため、当史跡の保存と活用に関する計画等を新たに策定する必要が生じました。

計画策定にあたり、広く意見を募るため「特別史跡藤原宮跡保存活用計画書（案）」に対してパブリックコメントを実施しました。

(2) 公表した資料

- 特別史跡藤原宮跡保存活用計画書（案）の概要版
- 特別史跡藤原宮跡保存活用計画書（案）

(3) 意見の募集期間

令和 7 年 3 月 25 日（火曜日）から 4 月 24 日（木曜日）

(4) 意見を提出できる方

- 市内に在住する方
- 市外の方で、市内に在勤・在学する方
- 市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体
- 市税の納税義務者
- 本計画（案）に利害関係を有する個人及び法人その他の団体

(5) 閲覧場所

分庁舎 1 階 屋内交流スペース、本庁舎北館 1 階、万葉ホール、ナビプラザ、中央公民館、歴史に憩う橿原市博物館、市ホームページ

(6) 意見提出方法

- 郵送
- 電子メール
- FAX
- 直接持参
- Web 入力フォーム

2. 結果

(1) 意見提出状況

提出方法	意見数
郵送	0
電子メール	0
FAX	0
直接持参	0
Web 入力フォーム	3

(2) 意見内容と意見に対する市の考え方

寄せられたご意見について検討した結果、計画に反映するご意見は 0 件でした。ご意見の内容と、各意見に対する市の考え方については、別紙「意見内容と意見に対する市の考え方」をご参照ください。

○ 意見内容と意見に対する市の考え方

・3件のご意見をいただき、このうち計画に反映するご意見は0件でした。

※記載のページ数等はパブリックコメント時点の案に基づく

No	受付日	提出方法	提出者種類	特別史跡藤原宮跡保存活用計画書（案） に対するご意見※	回答	計画の修正
1	令和7年4月14日	Webフォーム	(2) 市外の方で、市内 に在勤・在学する方	<p>5. 大綱・基本方針（2）基本方針1）調査、研究：藤原宮の全貌 解明／8. 活用（1）方向性（p.118、pp.126-127）</p> <p>古代の日本を象徴する遺跡であるにも関わらず、その認知度が低いのは残念。藤原宮跡を訪れることで、その規模や価値を理解できるような整備（建物の復元を含む）をしてほしい。そのためには発掘調査による研究の進展は不可欠だろう。また、遺跡を訪れた人にとって、現在進行系で発掘調査がおこなわれていることほど、大きなインパクトを与えるものはないと思う。遺跡に興味を持ってもらうためにも発掘調査が継続的におこなわれることを期待する。</p>	<p>藤原宮の全貌解明のためには発掘調査を進めていく必要があると考えています。また、来訪者が藤原宮跡の価値を理解できる適切な整備を行うためにも、奈良文化財研究所の発掘調査をはじめとする調査、研究に協力をしていきます。なお、当時の建物の復元等に関しては、現地での理解を深められるように、AR等のデジタル技術を活用した事業を令和7年度から実施します。</p>	なし
2	令和7年4月14日	Webフォーム	(2) 市外の方で、市内 に在勤・在学する方	<p>p.81にあるように、藤原宮の発掘調査面積は14%にしか満たず、まだまだ解明されていない部分が多い。今後も継続した発掘調査と未知の歴史の解明が求められる。</p> <p>pp.99のように、国有地も少しずつではあるが増加してきており、公有地化された水田の発掘調査を今後も継続していく必要がある。調査をすることによってその隣地の公有地化の推進へもつながることが期待される。</p> <p>整備活用に対しては、平城宮のような施設復元ではなく、現状の水田景観や地域の歴史的風土を留めるようにしていただきたい。</p>	<p>藤原宮の全貌解明のためには発掘調査を進めていく必要があると考えているため、奈良文化財研究所の発掘調査をはじめとする調査、研究に協力をしていきます。また、文化庁が策定した「特別史跡藤原宮跡整備基本構想（改訂版）」の5つの整備基本方針（基本的理念）では「①周辺の田園風景との調和を十分に考慮した整備を行う。」と記載しています。本保存活用計画も、この方針を念頭に置いて作成しており、いただきましたご意見を配慮して進めてまいります。</p>	なし
3	令和7年4月21日	Webフォーム	(2) 市外の方で、市内 に在勤・在学する方	<p>5. 大綱・基本方針 （2）基本方針 1）調査、研究：藤原宮の全貌解明 → この箇所では、藤原宮跡における現在の発掘調査面積が14%弱に過ぎないとあり、多くの未解明部分が残されていることに言及している。</p> <p>現在、藤原宮跡は世界遺産候補とされているが、これはその「たった14%から明らかになった内容」でも、それだけの価値があると評価されているのである。それでは、残りの86%が明らかになった場合、藤原宮跡の価値はどれほど豊かなものとなるだろうか。</p> <p>そのため、やはり更なる発掘調査を実施して、藤原宮跡の内容をより明らかにしていくことは、遺跡の価値を高めるだけでなく、今後の保存整備や活用の在り方に、大きく資するものになることであろう。</p> <p>については、橿原市は奈良文化財研究所と協力しながら、藤原宮の全貌解明に一層努力していただきたい。</p>	<p>藤原宮の全貌解明のためには発掘調査を進めていく必要があると考えているため、奈良文化財研究所の発掘調査をはじめとする調査、研究に協力をしていきます。</p>	なし